



令和6年度 幼児教育研修（副園長・主任）

「子どもの主体性を育むとは」

日時：令和6年9月3日（火）15:00～17:00

会場：足立区役所 庁舎ホール

講師：大妻女子大学 専任講師 久保 健太 氏

子どもの姿（動画）を通して、主体性とは何かを考え、保育者の役割について学びました。

まずは
グループトーク

「主体性を表すキーワードとは？」をテーマに話し合いました。



子どものやりたいことができるような
手順を保育者が考えること？



やりたくないと言えること、自分の
意思を伝えること？

やってみたいという気持ちの前に「なんでだろう？」
「どうしたらできるだろう？」という思いをもつこと？



かんたくんとかほさんのけんか（5歳児）

いつも一緒に遊ぶ二人。

今日は、思いがすれ違ってお互いの思いをぶつけ合っている。保育者は、二人の関係性や性格を把握しているの、そばで見守っている。



かほ：なんで大きな声で言うの？かんたくんが大きな声ですから、だから、かほはおこってるの！

かんた：大きい声が嫌なら、もっと離れればいいじゃん！

かほ：もう下がれないでしょ。ここに壁があるんだから

かほ：あのさ、かほが話しているときに、なんで紐なんかひっぱってるの？やめてくれない？

（かんたくんの立っている押入れのカーテンから紐が垂れ下がっている）

かんた：ここに紐があるからだよ

かほ：じゃあ、切れればいいじゃん

かんた：切るの手伝ってよ・・・

（二人で協力して紐を切る）

かんた：ありがとう

最後は、お互いの顔を見合って、笑顔も見られた二人。

その日の給食は二人並んで仲良く食べる姿が見られた。



ポイント

主体性とは・・・

抑制を効かせながら自己発揮すること

*やりたいこと、言いたいことをドバドバ出すことではない

*相手の意見を聞いて、そして自分の意見も言う

*「手伝って」「ありがとう」が素直に言える

*手を出さない、取り合わない



リアカーを押す（3歳児）

- ・リアカーを押したいと思った子が、「だれか～、助けて～!」と声を上げる。
- ・それを聞いた子が、他の子を集めながら助けに行く。
- ・子どもたちは、力を合わせて押し出そうとするが、リアカーは動かない。
- ・タイヤの下に石が挟まっている。
- ・子どもたちは、リアカーの下をのぞき込んだり、押ししたり引いたりする。





主体性は2種類あり、主体性Aと主体性Bは連動している

A

自分の中に様々な欲求(感情)が湧き出ること
いろいろなカラダの声が出てくること

選択肢が湧き出てくること

ココロが動いちゃうときの主体性
感じる主体性
野生の主体性
マグマの主体性
(感情がぐるぐる渦まいているイメージ)

B

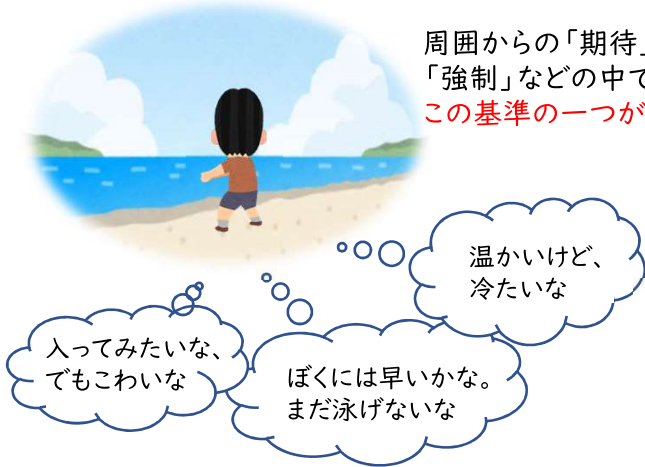
自分の中にある欲求(湧き上がってくるカラダ
の声、感情)を整理し、そこから「するかしない
か」を自分で決めること

選択肢の中から選ぶこと

アタマを動かすときの主体性
考える主体性
知性の主体性
ジャングルの主体性
(感情が枝葉に分かれ絡みあっているイメージ)



「するかしないか」判断基準『倫理』



周囲からの「期待」や「視線」、みんなと作った「約束」社会的な「規範」、他者からの「強制」などの中で、子どもは「するかしないか」を決めるようになる。

この基準の一つが『倫理』

その子の生命と周囲の生命とのひびき合いの
中から湧き出てくる基準。「カラダの中からの
声」と言い換えられる



「3歳さんだからダメ」「4歳さんだからOK」と
いった規範によって「するかしないか」を決めるの
ではなく、自らが「冷たい」「寒い」というカラダの
声を聞きながら決めること。

☆ 0歳児の主体性

- ・自分のカラダをアンテナにして、世界のメッセージをキャッチしている。
- ・自分のカラダを、良質なアンテナへと磨いていく。



乳児とのふれあいの時間をたっぷりとする。

⇒大人とのふれあい時間の中で、さまざまな感覚が湧き出てくる。

⇒自分にとって「快」「不快」なものをキャッチできるカラダになっていく。



パックジュースにストローを差して飲みたい

子どもが「できないよ」「たすけて」と言ったときの応じ方

- ① 保育者がやってあげる ⇒ 「先生はたすけてくれる」という信頼
- ② 友達にやってもらう ⇒ 「みんなはたすけてくれる」という信頼
- ③ 自分でやってごらん ⇒ 自立・自律を促す



できない
やって～!!

☆ 1歳児の主体性

- ・「できない」を安心してさらけ出すことの大切さ



幼児になったときに、「できないから」と主体的に言える
ために大事である。



研修生の報告書より

*今までも主体性とはという問いに対して考えてきたが、研修において「主体性とは、自分に抑制を効かせながら自己発揮すること」という言葉が本当に心に響き、納得できるものであった。

*主体性には感じること(心が動く)、するかしないかを自分で決める(頭を動かす)という2種類あることを学んだ。自由と混同し、葛藤していたところがあったが整理することができた。